

経済 信州発

県内情報リンク

★改正育児・介護休業法の企業向けオンラインセミナー

長野働き方改革推進支援センター(長野市)は10月6日、本年度から段階的施行が進んでいる改正育児・介護休業法のポイントを押さえる企業向けオンラインセミナーを開く。10月には従業員の妻の出産後に休みをより柔軟に取得できる「産後パパ育休」制度などが始まることを踏まえ、社会保険労務士が同法改正の内容や背景、総務担当者が実務的に押さえておきたい点などを解説する。午後1時半～2時半。無料。

10月13日、11月4日には、仕事と介護の両立支援、労働時間管理をそれぞれテーマとしたオンラインセミナーも開催。申し込み、問い合わせはフリーダイヤル(☎0120・088・703)で同センターへ。

県内新製品

☆信州の味覚入りギョーザ

冷凍ギョーザ製造の信栄食品(松本市)は17日、信州の伝統野菜「ぼたんこしょう」とホクト(長野市)のキノコをそれぞれ使った新商品2種を発売する。

「ぼたんこしょう餃子(ぎょうざ)」は写真=は中野市で採れたぼたんこしょうを使って、ピリッとした辛味をアクセ



ントに仕上げた。「きのこ餃子」はホクトから仕入れたエリンギとマイタケ、ブナシメジを使用。食事に菌類を取り入れて腸内環境を整える「菌活」をテーマに開発した。新商品2種は、松本市などに置く自社の自販機で20個入りを税込500円で販売。オンラインストアでは、40個入りを送料・税込み1980円で販売する。



後継機の発売も予定している消費者向け卓上アイロンプレス機「PARITTO」

クリーニングの衣料仕上げ機製造のイツミ(諏訪郡原村)は、消費者向けのクリーニング機器のラインアップ拡充を進めている。業務用クリーニング装置などが主力の同社は2019年に初の消費者向け卓上アイロンプレス機を発売。今後の消費者向け製品の展開に備え、本社工場に新棟

業務用の技術消費者に クリーニング機器品ぞろえ拡充 イツミ 本社工場に新棟も

を建設し、生産能力を従来の1.5倍に引き上げる。

同社は、業務用クリーニング装置やアパレル工場向け生産設備が主力製品。新型コロナウイルスの影響でテレワークが浸透したこともあり業務用クリーニング設備は落ち込む一方、アパレル工場向けの需要は拡大。業務用関連

後継機の発売も予定している消費者向け卓上アイロンプレス機「PARITTO」(パリット)のプレス部を拡張した後継機も今月に発売する予定だ。新棟は床面積1600平方

同水準に回復したが、人口減少によりクリーニング市場は縮小傾向にあり、消費者向け製品を新たな事業の柱に育てる。

BEB5 軽井沢で開催する「BEBりんごハロウィン」のイメージ



地元のリンゴでハロウィン演出 星野リゾート 若者向けホテルで催し

星野リゾート(北佐久郡軽井沢町)が同町星野で運営する若者向けホテル「星野リゾート BEB5(ベブファイブ)軽井沢」は10月、地元のリンゴを活用したイベント「BEB りんごハロウィン」を初開催する。小諸市の野元果樹園から収穫できなくなっていたリンゴなどを提供してもらい、カボチャの代わりにかわいらしく館内を飾り付ける。地元らしさを打ち出しつつ、ターゲット層の若年層に季節のイベントを楽しんでもらおうと企画した。

同社の21年9月期の売上高は約4億円で、27年9月期までに消費者向け関連の売上高

は約4億円で、27年9月期までに消費者向け関連の売上高

薄社長は「業務用の技術やノウハウを家庭に移植した商品を展開していきたい」として、イベントは日

管用として定着

使って、ハロウィン向け「ジャックン」作りをする。BEB5(ベブファイブ)を模した帽子を使って仮装でも、クリスマスに合わせて若

県内の住 7月15.2% 2カ月連 県建築住宅課 内の7月の新設は、前年同月比983戸だった。前年水準を下で、利用別では、1%減の559月比で5カ月連家は18.9%